

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ）		
ナンバリングコード	E41204	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 総合レベル ゼミナール
単位数	4	配当学年 / 開講期	4 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002705	クラス名	本村ゼミ
担当教員名	本村 裕之		
履修上の注意、 履修条件	本ゼミナールは、経済の情報を理解し、それを活用できるコンピュータと、日常の生活で用い る紙や鉛筆と同レベルで使いこなして、経済を表現していくことを目標としているゼミナールです。 授業の中では、コンピュータの性質上、数学と英語が出てきます。苦手意識をもっている人も多いと はと思いますが、実際にやってみるとそれほど高い壁ではないことも多いものです。さらに授業では その原因となっているかもしれないコンピュータが、学習の手助けをしてくれます。 大事なのは、論理的な思考を行うことです。物事を冷静な目で見える精神を養ってください。		
教科書	必要資料に関しては都度配付する。		
参考文献及び指定図書	井上裕著「まちづくりの経済学」、学芸出版会、2001 藤田昌久著「都市空間の経済学」、東洋経済新報社、1991		
関連科目	プログラミング入門、プログラミング言語、データ解析A、データ解析B、情報システム論、システム 分析論、経済統計		

○基本情報		
授業の目的	経済の分野としては、都市経済学という、都市の形成や成長、そこに関わる消費者の行動モデル を、経済的な統計データを用いて分析・表現していく分野を扱います。 対応DP：専門知識を活用するための技能とプレゼンテーション能力、チームで活動するためのコ ミュニケーション能力を身につけていること。	
授業の概要	ゼミでは、ワードやエクセル、より高度な技能を考えている人は基本情報処理技術者、オラクル、 JAVAといった資格取得を睨みつつ、現実には経済的・社会的なデータを得ることの難しさや、その手 順、価値といったことを、フィールドワークを通じて、理解し表現していくことを目標とする。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー Ⅱ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
実務経験のある教員に よる授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試 験・中間確	提出物 (レポート・ 作品等)	無形成果 (発表・そ の他)
【関心・意欲・態度】	さまざまな意欲・意識を持った他者と問題の共有を行うことで 自身の一般化を図る		40点	
【知識・理解】	社会学を学ぶ上で最低限必要な数学的知識・マーケティング の知識を身に着ける		30点	
【技能・表現・ コミュニケーション】	調査を実際に行うことで調査者として必要な技能を身に着け る		20点	
【思考・判断・創造】	客観的に問題を見つめることで鳥瞰的なオブジェクトシンキン グを身に着ける		10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
講義でのレポートおよび講義への参加状況をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
ゼミナールⅣは、「数理データサイエンス」(下記※1)について学ぶ 今日の社会において幅広い分野で必要とされる AI (人 工知能) 関連の基礎科目、特にデータの設計・収集・加工・処理能力の育成科目としても重要である。 ※1「数理データサイエンス」とは、適切な手法でデータを収集し、データの分析を行い、分析結果から得られた解釈を活用 するという科学であり、今日の社会で広く必要とされる技能です。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 本村 裕之	授業コード	E002705
学修内容				
1. 第1週 履修登録 第2週 卒業論文テーマ精査				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
2. 第3週、第4週 卒論指導				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
3. 第5週、第6週 卒論指導				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
4. 第7週、第8週 卒論指導				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
5. 第9週、第10週 卒論指導				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
6. 第11週、第12週 卒論指導				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
7. 第13週、第14週 卒論指導				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
8. 第15週 前期の振り返りと夏季休暇中の指示を行う(16週目は実施しない)				
予習			約2時間	
復習			約2時間	

○授業計画	科 目 名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 本村 裕之	授業コード	E002705
学修内容				
9. 第16週 履修登録 第17週 休暇検証				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
10. 第18週、第19週 卒論指導				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
11. 第20週、第21週 卒論指導				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
12. 第22週、第23週 卒論指導				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
13. 第24週、第25週 卒論発表会準備				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
14. 第26週、第27週 卒論発表会準備				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
15. 第28週、第29週 卒論発表会準備				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
16. 期末試験 期末試験は実施しない(第30週カウントは卒論発表会に充てる)				
予習				
復習				